

ConBio2017大会運営に ついてのアンケート 集計結果

ポジション別:企業研究者

回答者数:59名

アンケート結果を公表します。具体的な個人名、施設名を伏字とした他は、一切の加工をしておりません。自由記述欄の批判的なご意見の中に、事実誤認に基づくものが多数ある事を申し添えます。ご注意ください。

2017年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017)

大会長

第40回日本分子生物学会年会 年会長 篠原 彰

第90回日本生化学会大会 会 頭 大野茂男

質問4-4. 所属する学会についてお聞きます <複数回答可> (協賛団体以外の学会)

協賛団体以外の学会記述	件数
日本神経科学学会	2
応用動物昆虫学会日本進化学会	1
日本ウイルス学会	1
日本化学会	1
日本糖尿病学会	1
日本農芸化学会、日本再生医療学会、日本バイオマテリアル学会	1
日本分析化学会、AAPS, ASMS	1
日本薬学会	1
日本薬学会、日本炎症・再生医学会	1

質問4-5. 所属する学会についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
	記述なし

質問5. ConBio2017に参加する目的は？ <複数回答可>（その他）

回答者 番号	その他記述
※	参加しなかった
※	自身のモチベーションの向上

質問6. 質問5の目的はConBio2017によって達成できましたか？ <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	参加できなかった。
※	学会には基本発表を伴わないと参加できないため、今年は参加できなかったため、残念でした。
※	参加しなかった
※	ワークショップがお友達の成果発表会のようにになっている。同じような内容なら時間を長くしてでも合同でやった方が良いのではないかと思った。
※	不参加

質問7. ConBio2017の参加費は？ <複数回答可>（その他）

回答者 番号	その他記述
※	普通。
※	シニア会員なのでコメントなし
※	学生の参加費は、会員1,000円・非会員2,000円で良い。その分、一般や企業の参加費が上がっても構わないと思う。

質問8. ConBio2017とこれまでの単独年会・大会、合同大会などと比較して全体的なご感想、ご意見をお聞かせください（その他）

回答者 番号	その他記述
※	大変よかった。各研究成果発表において、その研究の背景を詳しく述べている点が大いに評価できる。これにより、その領域の専門家でない聴衆からの時には的外れな質問が出ることによって、Discussionの幅が広がったと感じられた。
※	参加できなかったので、詳細はわかりませんが、合同大会ですと多くの情報を一度の学会で得られるのはメリットと考えます。予算的に頻繁に学会へいきにくい立場なので、こういった機会は貴重です。
※	他学会が参加している割に、発表演題はいつも通りであったように思いました。
※	よかったと思う。ただ、聴講したい発表の時間が重なったり、会場が広いため移動する時間が足りなかったりといったところはよくなかった。なかなか難しいところかもしれませんが、もう少し会場が集約されているような場所がよいと思います。
※	参加しなかった
※	学際的な部分を取り込もうと言う姿勢は評価できるが、その分内容が拡散してしまっているように感じた。このような大会も必要だと思うが、分子生物学会としての単独年会も必要ではないかと思う。
※	分野を網羅する分、ポスター件数が増え会場が分散してしまい質が低下してしまっている印象がある。
※	今回が初参加なので、比較はできないが、全体的に混雑がひどかったように思う。
※	今回参加できて良かったですが、過去のことはよく知らないので、比較してどうかは分かりません。
※	今回が初参加です。

質問9. ConBio2017の規模は？（その他）

回答者 番号	その他記述
※	会場の規模から見ると、人数が多すぎる。1万人でも問題ないが、それに対応した会場にすべき。
※	会場が分散し過ぎていて、一会場から他の会場に移動するに非常に不便だ。同様に大きな会場でも、パシフィコ横浜の方が、会場への利便性や宿泊施設も含めて格段に良いので、交互開催ではなく、常にパシフィコ横浜か同等の利便性と会場間の移動が簡単な施設で実施していただきたい。また、企業の展示ブースがポスターの前にあるのは、如何に協賛していただいているからと言っても、入り口付近に人が多く固まりポスターに行き難く議論ができない。

質問10. ConBio2017の適切と思う会期は？（その他）

回答者 番号	その他記述
※	4日間でよいと思うが、一般の口頭発表は1-3日目でポスター発表が2-4日目のようにして、口頭発表を聞いてからポスターでじっくり討論できる仕組みにしてみたい。

質問11. ConBio2017の開催期間に週末、祝日を含めるべきだと思いますか（その他）

回答者 番号	その他記述
※	全て平日でも土曜日を含んでよいと思うが、祝日・日曜日は含まれない方がよいと思う。
※	どちらでもいいです。
※	高校生が参加しやすいように、大会の中日に週末や祝日を挟んだ方が良い。一般参加者が多く高校生の発表を聴くように配慮すべき。

質問12. ConBio2017の適切と思う開催時期は？（具体的な好ましい時期）

回答者 番号	具体的な好ましい時期記述
※	5月から9月上旬
※	12月は何かと忙しいので、10-11月ごろが好ましい。
※	いつでも良い
※	11月の下旬
※	12月中旬

質問13. オンデマンド配信について、参加者の立場からのご意見をお聞きかせください <複数回答可>

回答者番号	回答内容	記述内容
※	その他	参加できなかった学会会員にも配信すべき。参加できない理由があるから参加していないだけで、参加していない会員にこそ公開すべき。
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	「オンデマンド配信」の期間は、学会の規模によりますが、今回は大きい規模なので、より長い期間(半年くらい)の方が望ましいと思います。各人の専門以外については、(論文を読むのみでなく)聴講することによって、入門し易くなるため、研究者の活性化や、研究グループの広がりにも有用と思います。
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	3-4ヶ月は公開期間がほしい。
※	その他	オンデマンド配信のおかげで、その他のセッションを聞きやすくなりました。
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる/その他	次の大会までのように、1年くらいを目安に公開期間を設定していただければと思う。また、聴講だけ参加の非会員はオンデマンド配信を利用できないが、会員・非会員を問わず参加した者は利用できるようにした方がよいと思う。(逆に、参加しなかった者でも会員なら利用できるという今回の方式より、参加者には全員に開放すべき)
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	1年間:共同研究を行うにあたり後で視聴したくなることがあるため。
※	その他	参加しなかった
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	1年ぐらいでもいいのでは
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	半年くらい
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	聴講時間が確保できないときは、見逃してしまう。
※	「オンデマンド配信」の期間は短すぎる	1年間
※	その他	聴きたいセッションが重なっていた場合に助かりました。「オンデマンド配信」があるために最新情報を話せない、とおっしゃった発表者がちらほらいらっしゃいました。論文より早く知ることができる場と思っていたので、残念でした。
※	その他	ConBioの規模を考えると、どうしても聴けない発表が出てきてしまうので、学会後の限られた期間内に配信で聴くことができるのは非常にありがたく、勉強になる。また、普段はあまり足を運ばない分野の発表を「お試し」で視聴出来るのも大きなメリットだと思う。視野、分野が広がる。

質問14. オンデマンド配信について、発表者の立場からのご意見をお聞きかせください <複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	n/a
※	発表者でないので判らない
※	ここは発表者ではないという項目を作るべき。無記入で、送信しようとしたら、記入されてないと差し戻された。
※	発表していないため、回答なし。
※	発表していないのでわからないが、「オンデマンド配信になるのでスライドには載せない」という発表者が多かった。これは聴講者には不利益。
※	オンデマンド配信のように、一方的なものなら必ずしもメリットばかりではないが、配信を見た人からの質問や意見などが反映され、またそれに対して発表者がコメントするような双方向システムになっていけば面白いと思った。(プレナリーレクチャーには必要ないが、一般口頭発表にもオンデマンドを導入するならという前提で)
※	発表しなかった
※	発表者ではないのでわからない
※	発表者でないので、特に意見ないです。
※	発表者ではありません。
※	発表していないので分からない
※	今回は発表していないが、自分の研究に興味を持ってもらえるチャンスにつながると思う。

質問15. ConBio2017における以下の取り組みについて、良かったと思うもの <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	1、2、3については、スケジュールの都合で参加していないので、コメントできない。

質問16-2. シンポジウムとプレナリーレクチャーについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
※	個人的には、興味を惹かれる話題がなかった。近い研究分野の人には良かったのではないかと思います。全参加者が満足するテーマ設定は難しいでしょうから、仕方がないと思います。
※	シンポジウムは、発表者同士が知り合いで、テーマが似たり寄ったりで、班会議みたいで、分野外の間人にとっては、興味のないものが多かった。ずっといても時間の無駄なので、聞きたい一題のために、移動を続け、漸く情報収集ができました。

質問16-8. シンポジウムとプレナリーレクチャーについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
	【当該設問の結果について】 委託先のアンケートシステムの問題により正常に回答が取得できていないことが確認されたため、非公開とさせていただきます。ご了承ください。

質問17. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
	【当該設問の結果について】 委託先のアンケートシステムの問題により正常に回答が取得できていないことが確認されたため、非公開とさせていただきます。ご了承ください。

質問18. 一般演題について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	1日当たり約1600題の発表は、多すぎる(1日当たり<<1000題が限界)と思います。
※	時間は適切だと思いますが、演題と、参加人数が多く、ポスターを見るのが大変でした。
※	移動が大変

質問19. 企業展示会について <複数回答可> (要望・その他)

回答者 番号	要望・その他記述
※	金額的な問題から、ブース設置が見送られた。

質問20. ランチョンセミナーについて <複数回答可> (要望・その他)

回答者 番号	要望・その他記述
※	ランチョンセミナーのほか、土曜日に行われたランチョン口演も良いと思う
※	今回はランチョンセミナー数が少なく、選択肢が少ない上にチケットがすぐなくなってしまう、いずれにも参加できなかった。例年のようにある程度の多数のランチョンセミナーがあったほうがよい。
※	お弁当目的の人がいると士気が下がる
※	会場が分散し過ぎていたこともあり、人数が多すぎることもあり、セミナーの参加が困難であるので、Webでの事前参加制度にしてほしい。
※	・バーコードで処理できるのがよかった。・4日目の昼のセミナーがすべてランチョンであることを事前に教えて欲しかった。
※	ランチョンセミナーのテーマによる人気・不人気の方よりは致し方ないが、全体の定員数が参加者に比して圧倒的に少なすぎる。整理券が配布時間から30分もかからないうちになくなるというのは、少なすぎる証拠だと思う。
※	8時30分に整理券を受け取りに行ったが、既に終了していた。もう少し余裕をもってほしかった。
※	色々事情があるとは思いますが、ランチョンの数が少なすぎる。ポートアイランドは、昼食の場所も少ない上、発表会場内も飲食禁止の場所が多いので、昼食難民がさまよっていること、コンビニやレストランに大行が起きていることも配慮してほしい。

質問21. ITシステム(WEBシステム・アプリ)について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	冊子のプログラム集に索引が一切ないのは極めて不満。ありえない。
※	参加していない学会員にパスワードを販売するでなく、自由に検索できるようにしてほしい。参加登録していなくても事前に検索できれば、1日だけでも参加しようと思える。(開催場所の問題は残るが。)そのために学会年会費が高くなってもよい。参加費払わないと事前の検索ができないのはおかしいと思う。
※	マイスケジュールが表になるとベストセめて時間順に変更できたらベターだった。
※	オンデマンド配信にもいえるが、後期登録者が当日までパスワードが貰えないのが非常に大変極めて不便だった。口頭発表タイムテーブルで右のほうのプログラムを見て戻った際に、いちいち左の初期画面に戻るのが非常に不便だった。
※	本学会のアプリがとても使いやすく、スケジュール管理がとてもやりやすかったです。ありがとうございました。
※	プログラムは、たくさんスクロールしないと見なくて、とてつもなく使いにくかった。特に発表形式別では、開くたびに初日からスクロールする必要があって、二日目以降については使い物にならなかった。日程別の下に、発表形式別・分野別の表示にするべき。
※	プログラム検索では、同じ演題の口頭発表とポスター発表がバラバラにヒットするので、検索結果が見にくかった。絞り込み条件や検索結果表示が改善出来るとより良くなると思う。

質問22-5. 今後の大会の開催形式について <複数回答可> (合同開催が可能な学会)

回答者 番号	合同開催が可能な学会記述
※	電気泳動学会炎症・再生医学会

質問22-7. 今後の大会の開催形式について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	近年は、研究進展のスピードが益々速くなる傾向であるため、分子生物学会・生化学会それぞれ単独開催で、開催日程が約半年離れていると望ましい(例えば、5月末と11月末)。
※	分子生物学会と生化学会は合併すべき。
※	類似した生命科学関連の学会を毎回一緒に開催してほしいが、とにかく、参加者が多いことや会場数が増えて分散するために、なるべく移動導線と移動人数を考慮した適切な会場で行ってほしい。少なくとも神戸のポートピアは様々な面で適切ではないと感じる。
※	分生と生化だけの合同大会は面白いと思ったことがなかったが、今回の多くの学会の合同開催は良かったと思う。生物学系の様々な学会と合同開催になるとより良い。
※	色々な意見があると思うが、大きい学術集会のメリットとして、会期に余裕があり、多数の研究者が参加するので様々な発表・意見を聞くことが出来、企業出展も増えるのでサービスや製品の相談・比較がしやすい。

質問23. その他、大会運営全般についてのご意見

回答者 番号	意見記述
※	冊子のプログラム集に索引が一切ないのは極めて不満。ありえない
※	大規模な学会を機能的に運営いただき、大変感謝しております。ありがとうございました。会場があまりにも大きすぎて、見て回るのは結構大変だったりします。分子生物学会と生化学会の合同開催は賛成ですが、テーマを絞ったり、分科会とかにできたりすると助かります。
※	事前に要旨集が閲覧できなかった点は、改めるべきである。
※	大規模になると会場に限られてくる。神戸は、移動手段がほぼポータライナーに限られ非常に混雑し、会場が分散しすぎるし、昼食の場所が少なく、あまりよくない。横浜の方がいい。この横浜でもいいので、開催場所は毎年同じでいいのではと思う。
※	今回、初めての参加だったため、過去との比較はできませんが、規模が大きくなり戸惑ったことは否めません。聞きたいセッションの時間が重なっていることもありましたが、オンデマンド配信の採用により、不満が緩和されるものと考えています。(現時点ではオンデマンド配信は視聴していません。)
※	とくになし
※	いつも大会最終日は参加者が激減する。最終日に講演が割り振られた人や、高校生の発表などは残念な雰囲気になる。早急に、最終日も参加したくなるような工夫が必要。最終日と初日午前参加者が少なくて当然、という雰囲気が定着するのは好ましくない。
※	前回のアンケートにも書かせていただいたが、会場アナウンスに日本語だけでなく英語を追加すべき。英語のアナウンスがないと海外から来た研究者が、ポスターセッションの時間帯などの状況把握が難しいと思う。